

高等学校 令和8年度（1 学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 音楽Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組

教科担当者：（ A～G組：福島優二 ）

使用教科書：（ MOUSA 1 ）

教科 芸術 の目標：

【知 識 及 び 技 能】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽を理解する

【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することを目指す

【学びに向かう力、人間性等】主体的に幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。

科目 音楽Ⅰ	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。	音色・リズム・速度・教材・形成を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように歌うかについて表現意図を持っている。
	【学びに向かう力、人間性等】
	曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み音楽を愛好する心情を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創	鑑 賞					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を知覚する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱の学習活に取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	○			○	曲に相応しい発声、言葉の発音、体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身につける。 学習記録とワークシート	○	○	○	8
	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を知覚する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱の学習活に取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	○			○	曲について調べたり意見を交換したりして曲想と音楽の構造や歌詞をイメージをもって試行錯誤しながら表現を工夫する。 学習記録とワークシート	○	○	○	8
	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を知覚する。 【学びに向かう力、人間性等】 指揮者になってみる	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	○		○	○	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きに注目しながら鑑賞し、指揮者になる。 歌のテスト 学習記録とワークシート	○	○	○	10
	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞。 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を知覚する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱の学習活に取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	○		○	○	1学期の総括で個別実技テストを行う	○	○	○	8

2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 曲想とギターとの関わり 【思考力、判断力、表現力等】 曲に相応しい奏法、体の使い方 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ギター ・ドラムスティック	○	○	○	曲に相応しい奏法、体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身につける。 学習記録とワークシート ギター練習記録とギターテスト	○	○	○	10
	A 単元 【知識及び技能】 曲想とギターとの関わり 【思考力、判断力、表現力等】 曲に相応しい奏法、体の使い方 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ギター ・ドラムスティック	○	○	○	物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し、曲に相応しい表現を工夫して歌う。 学習記録とワークシート	○	○	○	10
3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 主体性を発揮しながら技術を身につける 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ギター ・ドラムスティック	○	○	○	表現を工夫して合唱に取り組む姿勢 学習記録とワークシート 歌のテスト	○	○	○	8
	A 単元 【知識及び技能】 主体性を発揮しながら技術を身につける 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ドラムスティック	○	○	○	表現を工夫して合唱に取り組む姿勢 学習記録とワークシート 歌のテスト	○	○	○	8 合計 70

科目 美術 I

单位数： 2 单位

使用教科書：（ 光村図書 美術 I ）

【学びに向かう力、人間性等】 自分なりの発想や構想で表現の工夫をして個性豊かな表現する

の目標： 感性や想像力を働かせて心豊かな発想をし、よさや美しさを などを考え構想する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
中学校美術科の基礎に立ち高校生の造形的な意識の向上と素材への適材適所の使い方をしている	発想から完成までの計画性と創造的な表現の構想を練ることで感性を高め技能を習得している	自分なりの発想や構想で表現の工夫をして個性豊かな表現している

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価の方法	知	思	態	配 当 時 数
			絵・ 彫	デ	映						
1 学 期	「見る 感じ取る 考える 表す」 高校美術Ⅰのイメージを持ち美術の 学びの意味や広がりについて考える	美術学習のオリエンテーション 授 業内容、必要な用具や材料教科書の 説明	○	○	○	○	美術への関心や意欲、態度、教科書の内容が 理解できたか	○	○	○	2
	プリントの図形的に正確に理解し表現 すること プリントの線を守りなが ら丁寧に1つずつ明度をつける	立体の意識 正面・側面・上面3方 向からの図形から立体を描く グラ デーションの練習	○	○			立体を把握しデッサンできたか 根気強く丁寧に塗り重ねているか	○	○	○	4
	白と黒が隣り合うときの明暗や線が 長短に見える錯覚の理解する 補色についての理解する 色彩について基本事項を学ぶ調和や 対比によって寒暖ができ春夏秋冬を 表わしているか	目の錯覚 幾何形体の理解 色相環のプリントを絵の具を使って 塗る	○	○			錯覚を理解できたか 知らない幾何形体をど れだけ立体的に描けたか 丁寧に絵の具を 使ってむらなく塗れているか	○	○	○	8
	3方向からの光を意識して立体を組み 立て構成する ねじれや上・側面の明暗での把握 (明度の段階に分ける) アクリル絵の具の使い方や明度による 色彩表現方法ができるか	3次元・4次元の立体 白黒(鉛筆)による3・4次元の立体 色彩による3・4次元の立体	○	○			集中力・持続力をもって作品にどれだけ向き 合っているか 構造や立体の把 握・明度段階に応じた色を塗れているか	○	○	○	8
2 学 期	色彩の効果によって個性豊かな色味 と感性ができることを学ぶ 感性や想像力を働かせて主題を生み出 し創造的な表現の構想を練る	春夏秋冬をイメージした色彩 プリントの枠をつつ丁寧に塗る 動物を使ったマークを考える	○	○		○	形や色を使って感情や思考を造形で表すこと ができたか 丁寧にアクリル絵の具を塗ること ができたか	○	○	○	14
	主題を主体的に追求することでより 深く内容を把握できるようにする	パズルに生徒が興味や関心を持てる ように漫画やアニメーションのキャ ラクターを取り上げ作品を仕上げる	○	○	○	○	個性豊かな表現とお気に入りのものを描くこ とで集中力を補い作品の優れた所も学ぶ	○	○	○	14
3 学 期	鉛筆によるトーンの練習 明度の境界 を見極めて線が引け表現出来たか 形を線でなく面で捉える指導をする	写真を使った鉛筆による模写 雑誌のグラビアから興味のある題材 を基に描く 立体感を学び明度の微 妙な色合を学ぶ	○	○	○	○	根気強く丁寧に作業ができているか 集中力 持続力をもって制作しているか 完成度の高い 作品になっているか	○	○	○	10
	電動ノコギリの使い方やすりがけ の仕方蠟燭を最後に塗り実際に使える スプーンを創るよう指導する	小割を使ってスプーン創る 日常的に使えデザインを考えて実 際に使えるスプーンを創る	○	○	○	○	なめらかで美しい形を創りだし実際に使える スプーンで完成度の高い作品になっているか	○	○	○	10 合計 70

高等学校 令和8年度（1 学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：藝術

科目：書道Ⅰ

单位数： 2 单位

対象学年組：第 1 学年 AB 組～ CD 組 FG 組

教科担当者：AB組：敏蔭由香 CD組：敏蔭 FG組：敏蔭

使用教科書：（「書Ⅰ」（光村図書））

教科 書道 I

の目標： 書の学習活動により、生活や社会の中の書に関わる資質・能力を育成する

【知識及び技能】書に関する特質について理解し、意図に基づいての表現技能を身につけるようにする

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫し、書によさや美しさを深く味わうことができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】書を生涯を通して愛好する心情を育て、感性を高め、心豊かな生活社会を創造する態度情操を育む

科目 書道Ⅰ

の目標： 生活や社会の中の書、書の伝統文化と幅広く関わる資質・能力を高める

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・書の創造的な諸活動(知識・表現・鑑賞)を通じて、日本及び中国等の書の歴史や文化と現代的な意義についての理解を深める。・漢字の書の変遷や仮名の成立等を理解し、文字と書の伝統と文化についての理解を深める。	書写能力や表現力、日本の伝統と文化についての理解を深めると共に、書の創造的な諸活動(知識・表現・技能)を通じて、考察する力や表現をする力を身につける	書の良さや奥深さを認識し、学んだ内容を積極的に活用しようとする態度や、作品制作や知識の習得の過程で得られる粘り強さを伸ばし、豊かで充実した感性と情操を持った人間性を育む

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			漢 仮	漢	仮							
1 学 期	単元 漢字の書	・指導事項 漢字の成立と変遷 文房四宝 姿勢執筆法 古典に基づく学習 硬筆 ・教材 教科書、プリント				○	・授業に取り組む態度 ・作品 ・振り返りシート		○	○	○	4
	単元 漢字の書 楷書	・指導事項 楷書の特徴、表現を比べ、臨書する 「九成宮醴泉銘」「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」「自書告身」「牛橛造像記」 硬筆 ・教材 教科書、プリント、書具		○		○	・授業に取り組む態度 ・作品 ・振り返りシート		○	○	○	22
2 学 期	単元 漢字の書 行書	・指導事項 行書の特徴、表現を比べ、臨書する 「蘭亭序」「争座位文稿」 「風信帖」 硬筆 ・教材 教科書、プリント、書具		○		○	・授業に取り組む態度 ・作品 ・振り返りシート		○	○	○	12
	単元 漢字の書 草書	・指導事項 草書の特徴、表現を比べ、臨書する 「真草千字文」「書譜」 硬筆 ・教材 教科書、プリント、書具		○		○	・授業に取り組む態度 ・作品 ・振り返りシート		○	○	○	4
	単元 漢字の書 隸書・篆書	・指導事項 隸書、篆書の特徴を知り、臨書する 「曹全碑」「泰山刻石」 硬筆 ・教材 教科書、プリント、書具		○		○	・授業に取り組む態度 ・作品 ・振り返りシート		○	○	○	4
3 学 期	単元 仮名の書	・指導事項 仮名の特徴を知り、古筆臨書をする 平仮名の単体、変体仮名、連綿、 行書き、散らし書き 「蓬莱切」 ・教材 教科書、プリント、書具			○	○	・授業に取り組む態度 ・作品 ・振り返りシート		○	○	○	20
	単元 漢字かな交じりの書	・指導事項 漢字かな交じりの書の創作を通して、創造性や表現力を伸ばす ・草稿づくり、作品制作、鑑賞会 硬筆 ・教材 教科書、プリント、書具	○			○	・授業に取り組む態度 ・作品 ・振り返りシート		○	○	○	4
合 計											70	

高等学校 令和6年度 教科

科目 音楽Ⅱ

教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 A 組～ G 組

教科担当者: 館 弓子

使用教科書: (MOUSA2

)

教科 芸術Ⅱ の目標:

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い豊かな情操を培う

科目 音楽Ⅱ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	曲の理解や表現の向上のための基礎	曲種に応じた発声方法や個性豊かな表現について学び、それぞれの歌を取 ・楽譜の読み書きを早く正確に行い、表現に生かせる力を身に付ける。 ・身近な曲の旋律をもとに、音楽を形作っている要素の働きを ・変えて、曲の持つ表情や雰囲気を変化させ、個性豊かに変奏や編曲をする。 ・Alleluja ・ヴォイストレーニング ・歩いて帰ろう ・One more chance 「ルールを守って音楽を楽しもう」 ・楽典 ・コード進行と簡単な伴奏付け ・ヴォイスアンサンブル ・ミュージカルナンバー 鑑賞: オペラ座の怪人	【知識・技能】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びそのかわりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、音楽の発音、体の使いなどの技能を身に付け歌唱で表している。 【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことのかかわりについて考え、どのように打つかに 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びそのかわりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	実技テスト 振り返りテスト			○	○	○	4
2 学期	ギターやキーボードの奏法や弾き歌い	ギターやキーボードの正しい奏法を身に付け、楽譜やコード府、TAB譜などを観ながら演奏したり、弾き歌いしたりする ・天体観測 ・サザエさん	【知識・技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びそのかわりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした楽器表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使用などの技能、及び他社との調和を意識して演奏する技能を身に付け、楽器で表している。 【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことのかかわりについて考え、どのように打つかに 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びそのかわりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	時代と作品を理解する 映画音楽を観賞する	・音楽史をたどりながらそれぞれの時代の作品の特徴を理解し、魅力味わう ・「音楽史」 「映画音楽を聴こう 映画「ハリポッターと賢者の石」	【知識・技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術とのかわりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことのかかわりについて考え、どのように打つかに 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の文化とのかわりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
3 学期	実技テスト 振り返りテスト			○	○	○	4
	ギターやキーボードの奏法や弾き歌い2	ギターやキーボードの正しい奏法を身に付け、楽譜やコード府、TAB譜などを観ながら演奏したり、弾き歌いしたりする ・Tears In Heaven ・シンコペーテッド・クロック	【知識・技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びそのかわりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした楽器表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使用などの技能、及び他社との調和を意識して演奏する技能を身に付け、楽器で表している。 【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことのかかわりについて考え、どのように打つかに 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びそのかわりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	実技テスト 振り返りテスト			○	○	○	4
							合計 54

【知識及び技能】美術1を踏まえ絵画、彫刻などの構造や文化的歴史的背景などとの関わり及び美術の多様性について理解を【思考力、判断力、表現力等】形や色などの造形を形つくる要素やその表現意図を認識し、どのように表現するかについて考えることがで【学びに向かう力、人間性等】主体的積極的に作品などから良さや美しさを感じ取り批評などして幅の広い見方を獲得することができる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
絵画、彫刻などの構造や文化的歴史的背景など 関わり及び美術の多様性などについて理解を深 める。	日常生活における人との関わりの中で伝え合 う力を高め、思考力や想像力をやしなうことが できる。	言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、尊重 して能力の向上をはかる態度をやしなうことが できる。

[illegible]

3 学 期	デザイン 【知識及び技能】 情報デザインの意義について 【思考力、判断力、表現力等】 自分の表現意図を持って構成できる 【態度】 主体的意欲的に表現しようとする	情報デザインについて 構成の方法 配色法	○	○	作品 制作態度	○	○	○	14
		送夏目漱石之伊予ヱ	○	○					
	定期考査								
合計									54

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 音楽演習 科目

教科：音楽演習 科目：芸術 単位数：2 単位 2
対象学年組：第3学年 A組～ G組
教科担当者：福島 優子（ ）
使用教科書：（MOUSA I II）
教科 音楽演習

の目標：音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を育成する

【知識及び技能】曲想と音楽の文化的・歴史的背景との関わり及び音楽文化の多様性を理解し、音楽表現に必要な技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり、聴いたりできる

【学びに向かう力、人間性等】主体的、協働的に音楽の諸活動に取り組み生涯にわたり音楽を愛好し生活を明るく豊かなものにする態度を養う

科目 音楽Ⅲ の目標：音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学期	楽しい童謡ーピアノで弾き語りをしてみよう	曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びそのかわりによって生み出される表現上の効果について理解している。 創意工夫を生かした楽器表現をするための体の使い方、奏法、楽典の理解など技能を身につけて演奏している				・曲想と楽器の音色や奏法とのかかわりについて理解している ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構造を知覚し、それらの動きを感受しながら知覚したものと感受したことのかかわりについて考え、どのように演奏するかについて表現している	○	○	○	4
	ギターやキーボードの奏法や弾き歌い	ギターやキーボードの正しい奏法を身に付け、楽譜やコード府、TAB譜などを観ながら演奏したり、弾き歌いしたりする				【知識・技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びそのかわりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした楽器表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他社との調和を意識して演奏する技能を身に付け、楽器で表している。	○	○	○	8
	作曲にチャレンジ～担任ソングを作ろう	自身で作った歌詞にふさわしい節とコードをつける。ギターやキーボードの正しい奏法を身に付け、楽譜やコード府、TAB譜などを観ながら演奏したり、弾き歌いしたりする				・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組み発表することができる	○	○	○	6
2 学期	物語と音楽ーミュージカルや映画をプレゼンテーション	ミュージカルや映画の中から一つ選択し、その魅力を伝えるために物語の進行における音楽の効果や各場面における音楽の美しさの特徴についてプレゼンテーションを行い音楽作品や演奏を多角的にとらえながら鑑賞する				・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組み発表することができる	○	○	○	8
	ギターやキーボードの奏法や弾き歌い	ギターやキーボードの正しい奏法を身に付け、楽譜やコード府、TAB譜などを観ながら演奏したり、弾き歌いしたりする				【知識・技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びそのかわりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした楽器表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他社との調和を意識して演奏する技能を身に付け、楽器で表している。 【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したものと感受したことのかかわりについて考え、どのように打つかについて独自の表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びそのかわりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	発表会をしよう	曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びそのかわりによって生み出される表現上の効果について理解している。 創意工夫を生かした楽器表現をするための体の使い方、奏法、楽典の理解など技能を身につけて演奏している				・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組み発表することができる	○	○	○	4

[illegible]